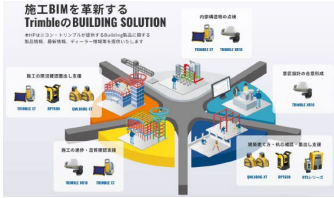




よくあるご質問



[本HPについて](#)

Q. Building Solution推進部とは何ですか

A. Building Solution推進部とは株式会社ニコン・トリンプルのビルディング製品を取り扱うチームです。本HPでは私たちチームが取り扱うビルディング製品の魅力をご紹介すると共に、各製品の認定販売店（ビルディングパートナー）、製品情報を一同に集約しお客様が必要な情報を入手することができます。

Q. 製品のカタログを入手したいのですが

A. 本HPの製品紹介ページにて各製品のカタログを公開しておりますので、是非ご確認ください。

Q. 製品を購入したいのですが

A. 本HPでは弊社の認定販売店（ビルディングパートナー）の情報を集約しております。ご希望の地域や製品から販売店を検索することができますので、ご希望の販売店よりご購入下さい。

Q. 製品について問い合わせたい

A. 本HPのお問い合わせフォーム、または各認定販売店（ビルディングパートナー）に直接お問い合わせ下さい。



よくあるご質問

**Boston Dynamics SPOT + Trimble X7について**

Q. Boston Dynamics SPOT + Trimble X7とはどのような製品ですか

A. Boston Dynamics SPOT + Trimble X7は自律四足歩行ロボットと3Dレーザースキャナを組み合わせたソリューションです。SPOTと3DレーザースキャナTrimble X7の組み合わせにより、建築、土木、インフラ、プラントなどの過酷な現場での各種測量計測データを自動で収集することを目的としています。

世界的に労働力が減少する状況下で、ロボットとTrimble社の測量計測センサーによるデジタルツインを実現します。詳しくは[カタログ](#)をご確認下さい。

Q. 製品のデモを行っていただくことは可能でしょうか

A. 新型コロナウイルス感染症対策により対面でのデモを見合わせる可能性がございます。（2022.4.1現在）
デモご希望の場合は、まずはWebでのご説明も可能ですので認定販売店（ビルディングパートナー）または弊社にお問い合わせ下さい。



よくあるご質問



Trimble XR10について

Q. 製品の詳細が知りたいのですが

A. [Trimble XR10の特設HP](#)に製品の仕様や最新情報を公開しておりますので、是非ご確認ください。

Q. ヘルメットの安全基準について教えてください

A. ヘルメットは以下の検定に合格しています。
 1. 物体の飛来又は落下による危険防止検定 2
 . 墜落による危険防止検定
 3. 頭部感電による危険を防止または軽減するための耐電圧検定
 検定を取得したヘルメット、衝撃吸収ライナー、あご紐を付属し出荷いたします。

Q. ヘルメットは他の製品でも対応可能ですか

A. Trimble XR10は専用ヘルメット用にカスタマイズした製品となっておりますので、他製品には対応しておりません。

Q. ヘルメットは取り外し可能でしょうか

A. Trimble XR10はヘルメットとMicrosoft HoloLens 2一体型の製品となっている為、ヘルメットを取り外しによる損傷などに対する補償は行っておりません。安全の面からヘルメットの交換を希望されるお客様は、ご購入先にお問い合わせ下さい。

Q. 納品までの日数はどの程度でしょうか

A. 在庫数や時期によりますが、通常は1か月以内には納品が可能となっております。詳細はお問い合わせ下さい。

Q. Microsoft HoloLens 2との違いを教えてください

A. XR10は専用のヘルメットと一体型とするためにHoloLens 2のデザインを変更しており外観に違いがあります。現場用に骨伝導スピーカーを追加しております。本体（マシン）部分はHoloLens 2となりますので、HoloLens 2と同様のサービスをお使いいただけます。

よくあるご質問



Trimble Connect MRについて

Q. Trimble Connect MRとはどのような製品ですか

A. Trimble Connect MRはTrimble社が独自開発したクラウド型MRシステムです。クラウドサービスのライセンスとXR10やHoloLens 2で使用できるMRライセンスに加え、タブレットやスマートフォン用のARライセンスを含んだソフトウェアであり、必要に応じて3DモデルをMR活用・AR活用していただけます。クラウドサービスを利用した効率的なデータ管理だけでなく、MR・ARを活用した現場課題の“見える化”を実現します。

Q. 活用可能な3Dモデルデータ容量を教えてください

A. クラウドはデータ容量、データ数、プロジェクト数無制限でお使い頂くことが可能です。HoloLens上での活用に関しては、デバイス側が3Dモデルを滑らかに表示する為、容量やポリゴン数の大きなデータを間引きして表示します。実際に大きなデータ活用いただく際は、不必要な情報を削除しHoloLens用にモデルを最適化する、またはTrimble Connect MR上で表示範囲を縮小するツールなどをお使い頂くことでスムーズに3Dモデルを表示することが可能となります。

Q. 活用可能な3Dデータ形式を教えてください

A. IFC (2×3)、IFC ZIP (.ifcZIP)、IFC XML (.ifcXML)、DWG (.dwg - AutoCAD 2013以降)、DGN (.dgn) STEP (.stp, .step)、TRB、IGES、IGS、XML、STP、DXF、SKP (2019以降)、TC ZIP (.tcZIP) Revit (2019以降) NWD/NWC (BETA版によりツールに制限有) 以上の3Dモデル形式に対応しております。その他クラウド対応データ形式は[コチラ](#)をご確認下さい。
※Revitをご使用の場合Trimble Connect for Revitをアドインする必要有

Q. モデルの位置精度はどの程度でしょうか

A. モデルの位置精度はHoloLensの空間認識の精度に大きく依存します。HoloLensは外部空間の特徴点の取得、ジャイロセンサーによる角度の抽出により自己位置を推定しているため、モデル配置時に空間を丁寧に認識することでモデル位置をご希望の位置に固定して表示することができます。

Q. このサービスを活用することでどのようなメリットがありますか

A. お手持ちの3Dモデルを簡単に素早く現場に重畳することが出来るため、施工前の3Dモデルを使用した干渉チェックや出来形管理などの業務の効率化を図ることができます。また3Dモデルを使用して遠隔のスタッフとコミュニケーションを取ることで、口頭では描写が困難な情報やメッセージを伝えることができ、コミュニケーションの質を向上させるというメリットがあります。

よくあるご質問



Trimble Connect ARについて

Q. Trimble Connect ARとはどのような製品ですか

A. Trimble Connect ARはタブレットやスマートフォンなどのBYOデバイス用のARシステムです。クラウドサービスをベースとした製品で、お手持ちの3Dモデルをクラウド上にアップロードすることでタブレットやスマートフォン上で3Dモデルを簡単にAR表示できます。モデルの配置ツールや距離測定ツール、タスクの作成ツールなどを活用し現場の確認作業やデザインレビューなどを効率化することができます。

Q. 活用可能な3Dモデルデータ容量を教えてください

A. クラウドはデータ容量、データ数、プロジェクト数無制限でお使い頂くことが可能です。HoloLens上での活用に関しては、デバイス側が3Dモデルを滑らかに表示する為、容量やポリゴン数の大きなデータを間引きして表示します。実際に大きなデータ活用いただく際は、不必要な情報を削除しHoloLens用にモデルを最適化する、またはTrimble Connect AR上で表示範囲を縮小するツールなどをお使い頂くことでスムーズに3Dモデルを表示することが可能となります。

Q. 活用可能な3Dデータ形式を教えてください

A. IFC (2×3) 、IFC ZIP (.ifcZIP) 、IFC XML (.ifcXML)、DWG (.dwg – Auto CAD 2013以降) 、SKP (2019以降) 、Tekla (.tekla) 、Revit (2019以降) NWD/NWC (BETA版によりツールに制限有) 以上の3Dモデル形式に対応しております。その他クラウド対応データ形式は[コチラ](#)をご確認下さい。
※Revitをご使用の場合Trimble Connect for Revitをアドインする必要有

Q. モデルの位置精度はどの程度でしょうか

A. モデルの位置精度はお使いのデバイスの空間認識の精度に大きく依存します。デバイスの空間認識は周辺環境の特徴点の取得、ジャイロセンサーによる角度の抽出により自己位置を推定しているため、モデルをAR表示している間空間を丁寧に認識することでモデル位置をご希望の位置に固定して表示することができます。

Q. このサービスを活用することでどのようなメリットがありますか

A. タブレットやスマートフォンで簡単に素早く3DモデルをAR表示出来るため、施工前の3Dモデルを使用した干渉チェックや出来形管理などの業務の効率化を図ることができます。また3Dモデルを使用して遠隔のスタッフとコミュニケーションを取ることで、口頭では描写が困難な情報やメッセージを伝えることができ、コミュニケーションの質を向上させるというメリットがあります。



よくあるご質問



RPT600について

Q. RPT600を使用するメリットは何ですか

A. RPT600は専用のコントローラに施工図などの設計データファイルを入れ、データを元に墨出し作業を行うことができます。取得した墨出しデータは作業記録として保存され、オフィスの設計データにフィードバックされるのでオフィスと現場のデータの整合性を確認しながら効率的に作業を進めることができます。詳細は[カタログ](#)をご確認ください。

Q. 本体のバッテリー使用時間はどの程度ですか

A. RPT600は標準でバッテリーが2個格納されており、それぞれ約6時間連続でお使い頂くことが可能です。
※ 温度環境により使用時間は変化します。

Q. 本体バッテリーを交換した再、再度機械設置は必要でしょうか

A. RPT600は前回の器械設置情報を復元しますので、再度器械設置をする必要はありません。

Q. 本製品の納期はどの程度でしょうか

A. 問い合わせ時の状況によって異なりますので、本HPの問い合わせフォームまたは最寄りの認定販売店（ビルディングパートナー）に直接お問い合わせ下さい。

Q. 製品のデモを行っていただくことは可能でしょうか

A. 新型コロナウイルス感染症対策により対面でのデモを見合わせる可能性がございます。（2022.4.1現在）デモご希望の場合は、まずはWebでのご説明も可能ですので認定販売店（ビルディングパートナー）または弊社にお問い合わせ下さい。



よくあるご質問



RTSシリーズについて

Q. RTSシリーズとはどのような製品ですか

A. RTSシリーズとはワンマンでの計測を可能とするロボティックトータルステーションです。各種先端技術が組み込まれることにより、計測作業の効率化を向上させます。
詳しくは[製品カタログ](#)、[Press Release](#)をご覧ください。

Q. RTSシリーズそれぞれの製品の違いを簡単に教えてください

A. 3機種それぞれ特長が異なりますので、ご希望の用途に沿って選択してください。

- ・ Trimble RTS771 (ISO1秒機、VISION搭載、赤色レーザーポインタ)
- ・ Trimble RTS873 (ISO3秒機、VISION搭載、自動絞り機能付き緑色レーザーポインタ)
- ・ Trimble RTS573 (ISO3秒機、VISION・レーザーポインタ共に搭載なし)

※ 製品名の最後の数字は測角精度を表します

Q. 本製品の納期はどの程度でしょうか

A. 問い合わせ時の状況によって異なりますので、本HPの問い合わせフォームまたは最寄りの認定販売店（ビルディングパートナー）に直接お問い合わせ下さい。

Q. 製品のデモを行っていただくことは可能でしょうか

A. 新型コロナウイルス感染症対策により対面でのデモを見合わせる可能性がございます。（2022.4.1現在）
デモご希望の場合は、まずはWebでのご説明も可能ですので認定販売店（ビルディングパートナー）または弊社にお問い合わせ下さい。



よくあるご質問



Trimble X7について

Q. Trimble X7とはどのような製品ですか

A. Trimble X7とは構造・設備などの施工現場や維持管理の現場で点群を素早く取得、BIMで作成されたデータとの整合性確認が現場で行える「現場完結型」の3Dレーザースキャナです。
従来機器とは異なり、点群の取得から合成作業までを一気に行うことができ、データの取り直しを減らし作業の効率性を高めることができます。詳しくは[製品カタログ](#)をご確認下さい。

Q. Trimble X7とはどのようなソフトを使用するのでしょうか

A. Trimble X7（建築・設備向け）では、3D設計データの取り込みに対応したFieldLink（フィールドリンク）ソフトウェアを使用します。2D/3D DWG, IFC, Digital PDF, SketchUp(SKP), LandXML(面情報のみ), CSVの各種ファイルを取り込み、点群計測および点群と面の出来形比較が行えます。自動で合成した点群をe57, LAS, RCP, POD等のファイル形式にて、現場でエクスポートすることができます。

Q. 本製品の納期はどの程度でしょうか

A. 問い合わせ時の状況によって異なりますので、本HPの問い合わせフォームまたは最寄りの認定販売店（ビルディングパートナー）に直接お問い合わせ下さい。

Q. 製品のデモを行っていただくことは可能でしょうか

A. 新型コロナウイルス感染症対策により対面でのデモを見合わせる可能性がございます。（2021.4.1現在）
デモご希望の場合は、まずはWebでのご説明も可能ですので認定販売店（ビルディングパートナー）または弊社にお問い合わせ下さい。